

日本分析化学会九州支部 2019年度 第1回常任幹事会

日時：令和元年6月8日(土) 14時00分～16時20分

場所：九州大学病院キャンパス 薬学部本棟 会議室

出席者（敬称略・順不同）：浜瀬 健司（支部長）、黒田 直敬（次期支部長）、
加地 範匡（副支部長）、長野 正信（副支部長）、高椋 利幸（監査）、
巴山 忠（庶務幹事/Anal. Sci. 編集委員）、中園 学（会計幹事）、戸田 敬（理事）、
石川 洋哉（常任幹事）、稲田 幹（常任幹事）、井上 高教（常任幹事/ぶんせき編集委員）、
川上 健次（常任幹事）、岸川 直哉（常任幹事）、栗崎 敏（常任幹事）、
宗 伸明（常任幹事）、竹中 繁織（常任幹事/第79回分析化学討論会実行委員長）、
西田 正志（常任幹事）、増田 寿伸（常任幹事）、吉留 俊史（常任幹事）

議題（担当者）

会議に先立ち、出席者の自己紹介がなされた。

1 報告事項

1) 理事会（戸田理事）

4月23日(火)開催の2019年度第2回理事会について、九州支部に関連する議事要旨の抜粋を用いて、理事人事、分析化学誌等の学会誌出版事業などについての報告がなされた。九州支部からは山口 敏男 理事（福岡大学）が学術振興協議会を担当されること、学会誌（ぶんせき、分析化学）については新たな論文投稿システムが導入されることが説明された。また、日本分析化学会定款の改定案について説明され、シニア会員についての規程が新たに設けられることが報告された。

2) 九州分析化学若手の会

第32回九州分析化学若手の会春の講演会（巴山庶務幹事）

6月1日(土)に九州大学において開催された第32回九州分析化学若手の会春の講演会について、世話人の森先生（九州大学）より提出された資料に基づいて、事業完了報告書と会計報告書（案）の説明がなされた。参加総数47名であり、盛会にて終了したと報告された。

第37回九州分析化学若手の会夏季セミナー（巴山庶務幹事）

7月26日(金)～27日(土)に佐賀県唐津市のHotel & Resorts SAGA-KARATSUにおいて開催予定の第37回九州分析化学若手の会夏季セミナーについて、世話人の田中先生（九州大学）より提出された資料に基づいて、説明がなされた。参加の呼びかけがなされた（6月28日の締切）。

3) 第60回分析化学講習会（高椋実行委員長）

8月6日(火)～9日(金)に、九州大学伊都キャンパス・九州大学馬出キャンパス・福岡大学理学部・福岡市産学連携センターにおいて開催予定の第60回分析化学講習会について、実行委員長の高椋先生（佐賀大学）から説明がなされ、現在の申込数が27件であることが報告された。また、浜瀬先生より、来年度の実行委員長は、加地先生（九州大学）にお務めいただくことが説明された。

4) 各誌編集委員会

Analytical Sciences (巴山編集委員)

5月18日(土)開催の本年度第2回 Analytical Sciences 継編集委員会について、提出された編集委員会の議事録に基づいて説明がなされた。現在、投稿件数が減少傾向であること、総説の引用数が少ないことから対策が必要であり、Analytical Sciences 誌への投稿や論文の引用が要請された。また、Analytical Sciences 誌の Facebook ページが公開されており、フォローが要請された。

ぶんせき (井上編集委員)

3月12日(火)開催の本年度第1回ぶんせき編集委員会について、提出された編集委員会の議事録を用いて、編集委員の井上先生(大分大学)から説明がなされた。ぶんせき誌に対する企画、アイデアを広く募集していることが説明され、編集委員宛への連絡が要請された。

分析化学 (巴山庶務幹事)

3月6日(水)開催の本年度第1回分析化学編集委員会について、編集委員の佐藤先生(九州工業大学)より提出された編集委員会の議事録に基づいて、説明がなされた。2019年12月号は、第79回分析化学討論会の特集号であること、若手初論文の受付が通年になったことや無料でインストラクターによる指導が受けられること、今後別刷り配布の代替として pdf 配布になり、投稿料として4万円が必要になる可能性があることが説明された。

5) 第55回化学関連支部合同九州大会 (巴山庶務幹事)

7月13日(土)に北九州国際会議場において開催予定の第56回化学関連支部合同九州大会について、報告がなされた。当支部からは、依頼講演として吉田先生(福岡大学)、座長を高椋先生(佐賀大学)にお願いしていることが報告された。また、九州分析化学ポスター発表件数は45件で、そのうちポスター賞審査対象は36件であることが報告された。ポスター賞の審査については、8名の先生方に依頼していることが報告され、了承された。

6) 機器分析ワークショップ (川上常任幹事)

6月28日(金)に長崎大学において開催予定の機器分析ワークショップについて、説明がなされた。

7) 第79回分析化学討論会開催報告 (竹中常任幹事)

5月18日(土)、19日(日)で開催された第79回分析化学討論会について、実行委員長の竹中先生(九州工業大学)より報告された。参加者は886名であり、討論主題として開催されたシンポジウムは11件、その中でも3件(大気粒子の化学物質やその影響をはかる、分析化学においてAI・ビッグデータの使い道はあるかのか?、生活に密着する分析化学)は一般参加可能なシンポジウムで、114名の一般参加があったと説明された。また、本討論会では、若手ポスター賞及び産業界シンポジウム若手ポスター賞が設けられており、受賞者に重複があったが、了承の上、賞を授与したとの説明があった。最後に、本討論会の収支は黒字であったことが説明された。

- 10) その他
特になし

2 審議事項

- 1) 支部役員の変更（巴山庶務幹事）

企業幹事の担当者の異動に伴い、4名の幹事が変更になったことを説明し、承認された。

- 2) 九州分析化学学会賞及び奨励賞（宗選考委員長）

5月25日(土)に九州大学において開催された選考委員会について、選考委員長の宗先生(佐賀大学)から報告がなされた。8名の選考委員により、奨励賞候補者2名に対しては15分の発表と10分の質疑応答、学会賞候補者1名に対しては書類により選考が行われたことが説明された。審議の結果、いずれの候補者も満場一致で受賞対象者とするのが選考委員会において決定されたことが報告された。また、常任幹事会においてもいずれの候補者も受賞対象者とするので承認された。

- 3) 支部幹事会・講演会・見学会（浜瀬支部長、長野副支部長）

今年度は、幹事会・講演会と見学会を、別日に開催することを浜瀬支部長より提案され、承認された。幹事会・講演会は、11月15日(金)に行うことが説明された。また見学会は、名称を「2019年度日本分析化学会九州支部 産学連携講演会・見学会」とし、長野副支部長より10月18日(金)に坂元醸造福山工場で行うことが説明された。

- 4) その他

若手の会行事（浜瀬支部長）

若手世話人の負担や支部予算のことを鑑み、春の講演会と夏季セミナーの同時開催を若手の会で検討すること、また支部幹事会・講演会で若手・中堅研究者の講演の場を提供することが提案され、承認された。

役員名簿（巴山庶務幹事）

6月8日現在の役員名簿が配布され、確認がなされた。

以上